

教科名	国語
科目名	言語文化
グレード	高校1年3組
単位数	3単位
対象学年	高校1年

科目の概要	言語文化では、古文・漢文（古典）および近代以降の文学的文章を学ぶ。これらを通して我が国の言語文化に対する理解を深めていく。古典分野では、古文・漢文を学ぶ意義を確認し、基礎基本的な事項をしっかりと身に付ける。近代以降の文学的文章では、文学的文章の読解を深めるとともに、思考力・表現力を養う。
科目の目標	【古文・漢文】①「歴史的仮名遣い」や「用言」「助動詞」、「返り点」「再読文字」といった読解のための基礎的知識を身につける。②和歌や漢詩についての基礎的知識を身につけ、作品や体験を通じて理解を深める。③著名な作品を通して、古典の理解を行う。【近代以降の文学的文章】作品を読み、読解力を身につけ、思考力や表現力を養う。
使用教科書	『言語文化』（筑摩書房）
使用副教材	いづな書店「古文単語330」、数研出版「体系古典文法」、啓隆社「速読多読」、駿台文庫「古典文法10題ドリル漢文編」、三省堂「全訳古語辞典」、三省堂「漢辞海」、数研出版「体系古典文法学習ノート」
評価の方法	定期考査（年4回）、上記の平常点（復習ミニテスト・問題集提出・ノート提出等）、及び授業の出席状況・積極性などを総合的に見て評価する。
学習の方法	〈予習〉＝可能であれば次の授業で取り扱う内容について「体系古典文法」や「古語辞典」の該当箇所を読んでおく。近代以降の文学的文章の場合は、事前に本文を読み、わからない語句は辞書などで調べておくことが重要である。〈授業〉＝わからない点は必ず質問してほしい。〈復習〉＝学習内容を振り返り、宿題を行う。★この授業では、授業冒頭に「復習ミニテスト」を行う。これは前時に学習した内容についての復習を行うテストである。〈予習〉〈授業〉〈復習〉〈復習ミニテスト〉という4段階を実行するとかなり効果があると思われる。他の教科科目の学習や、部活動などの諸活動が忙しい人は、この「復習ミニテスト」を重視してほしい。〈予習〉＝本文をノートに写し、自分なりに訳しておく。〈授業〉＝自分の訳がどれくらい正確であったか確認する。〈復習〉＝授業内容を振り返り、「わからないこと」がどれくらいあるか確認する。「わからないこと」があれば質問し「わか
生徒への一言	高校1年3組の古文は、本格的な古文学習が初めてである、という条件を考慮した授業が展開される。いたずらに先取りを急ぐのではなく、基礎基本をしっかりと学習することが重要である。高校2年生からは他のクラスの生徒と一緒に同一展開で授業を受けることになるが、授業を大切に問題集や辞書などを活用して理解を確実にすることで、合流した際に苦労することはないと思われる。授業を第一に、「わからない」から「わかる」になるよう、しっかりと取り組んでもらいたい。

月	授 業 予 定
4月	【古文】「歴史的仮名遣い」「用言」【漢文】「返り点」 ※随時「速読多読（小説）」を行う。
5月	【古文】「用言」「助動詞」【漢文】「再読文字」「漢文の構造」※随時「速読多読（小説）」を行う。
	5月下旬 前期中間考査
6月	【古文】助動詞【漢文】「漢文の構造」「漢和辞典の使い方」「白文を辞書を使って読む」※随時「速読多読（小説）」を行う。
7月	【古文】助動詞【小説】教科書「待ち伏せ」
9月	【古文】助動詞、教科書「竹取物語」【小説】教科書「待ち伏せ」
	9月下旬 前期期末考査

10月	【古文】教科書「竹取物語」【漢文】引き続き文章読解。「古典文法10題ドリル漢文編」を用いた文法学習（「使役形」）※随時「速読多読（小説）」を行う。
11月	【古文】教科書「伊勢物語（東下り）」【漢文】引き続き文章読解と「古典文法10題ドリル漢文編」を用いた文法学習（「受け身形」「否定形」）※随時「速読多読（小説）」を行う。
	11月下旬 後期中間考査
12月	【古文】教科書「伊勢物語（筒井筒）」【小説】教科書「羅生門」
1月	【古文】教科書「伊勢物語（筒井筒）」【小説】教科書「羅生門」
2月	【古文】教科書「土佐日記（門出）」【漢文】「部分否定と全体否定」【小説】教科書「羅生門」（終わるまで）
	2月下旬 後期期末考査
3月	詩、漢文復習、【古文】「土佐日記（馬のはなむけ）」「方丈記」など